

## ごあいさつ



公益社団法人 日本WHO協会  
理事長 関 淳一

本年1月26日にフランスで逝去された第4代WHO事務局長中島宏先生を偲ぶ会が、去る6月15日に東京のホテルオークラに於いて行われ、私も出席致しました。

中島宏先生がご逝去された日には、ジュネーブでWHO執行理事会が開催中で、マーガレット・チャン事務局長が会議の中で追悼の言葉を述べられ、全員で黙祷が捧げられました。

中島宏先生は、1974年からWHOの仕事に従事され、1979年から1988年迄WHO西太平洋地域事務局長、1988年から1998年迄WHO事務局長として、世界の人々の健康の為に、文字通り世界中で活動を展開されました。常に現場に立たれ、ポリオ撲滅をはじめ現在も続く数々の事業を手掛けられた先生のご功績は日本人の誇りであります。享年86才でした。

東京での偲ぶ会には、厚生労働大臣をはじめ来賓の方々や中島宏先生を慕い偲ぶ多くの方々が集まり、各々が思い出を語られました。最後に二人のご子息と共に、この日の為にフランスから来日されたマーサ夫人が、生前の中島先生の人類の健康に対する強い思いを偲びつつ、生前故人と関わりのあった全ての方々にお礼を申し上げたいとご挨拶されました。

去る6月1日から3日間にわたり横浜で行われた第5回アフリカ開発会議(TICAD-V)の公式サイドイベントに於いて、私共(公社)日本WHO協会も「アフリカの健康、水、いのち」と題したフォーラムを開催いたしました。2011年4月の日本医学会総会のイベント行事として、同じタイトルで計画していた東日本大震災により開催できなかったものを、この度、

アフリカ開発会議の目的に沿って再構成いたしました。前回と同様、実際にアフリカで活動しておられ、当協会の理事でもある大阪大学の中村安秀教授に全体の構成、演者の選定及び当日のファシリテーターをお願いしました。

第1部では、私共の協会と何らかの関係のある日本のNGO/NPO、企業、研究者、学生等様々な立場の人達から、アフリカで実際に取り組んだ生の体験談を紹介していただき、続いて第2部では、アレックス・ロスWKC所長をはじめとする内外からの参加者を交えての意見交換が行われました。健康の問題を幅広い視点でとらえて、色々な場での実体験者の意見を聞くことができ、アフリカを身近に感じることができると共に、これからのアフリカの開発に我々ができることを皆で考える非常に良い機会となりました。

非常に忙しい中、ご参加いただいた方々に、改めて御礼を申し上げますと共に、全体を取り仕切っていたいただいた中村安秀教授に感謝いたします。フォーラムの全体については、本号に掲載されておりますので、是非お目通し頂きたいと思っております。

「目で見るWHO」の前号で、開催のご報告をさせていただきました2月27日に東京で開催いたしましたフォーラム「歯と健康Ⅱ～Active Ageingのために～」での和泉雄一先生と米山武義先生のご講演の全文を今回掲載させていただきました。いずれも健康寿命との関わりから極めて示唆に富むお話で、是非一人でも多くの方にお読みいただきたいと思います。尚、ご講演の内容を文章化するに当たりご多忙の中、改めてご推敲いただきました両先生に厚く御礼申し上げます。 2013年8月